

# 学習支援アプリを活用した問題解決型学習

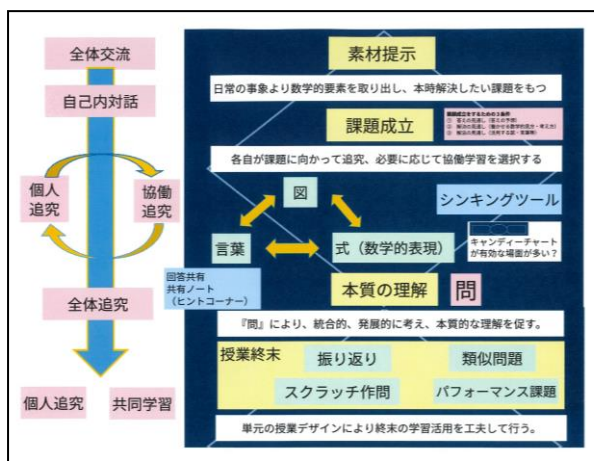
恵那市立大井小学校 教諭 岩島 慶尚

## 1 活用する学習支援アプリについて

今回使用した学習支援アプリには、仲間の考えをすぐに交流することができる『回答共有』や、共同作業ができる『共有ノート』の機能がある。この機能を個人追究や全体交流など様々な場面で活用している。その時に「どうしてそうなるのかを考えること、さらに、分からない部分をはっきりさせること」の大切さを共有する。

## 2 授業展開について

学習支援アプリを活用することで、問題解決型学習が考えられた当時の目指した授業を実現することができるようになったと考えている。様々な実践を通して、以下のような展開を考え、実践を進めている。



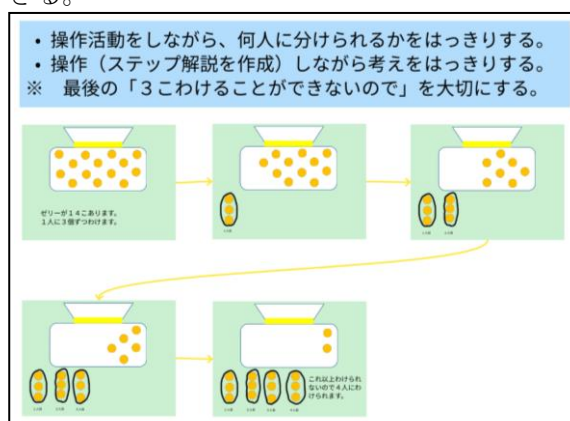
## 3 算数科における有効な活用例

### (1) ステップ解説について

算数指導において、筋道を立てて考えることを大切にしている。そのことを視覚化することができるのが、「ステップ解説」である。

今回使用したアプリのは「複製」や「写真やスクリーンショットを撮り、取り込むこと」が簡単にできる。そのことを活用して、思考のま

とまりごとに、カードを作り、それをつなげることで、ステップ解説ができあがる。以下は第3学年「あまりのあるわり算」の第1時におけるステップ解説である。このことで、今までできなかった、操作活動の視覚化をすることもできる。



### (2) 問題作り

アプリに取り込んだ写真の一部を塗りつぶすことで、スクラッチ形式の問題を作ることができる。

一人一人が問題を考え、その答えを書いたノートを写真に撮り、答えの部分を塗り潰し、提出する。その後、回答共有にする。

問題を作るためには、本時の学習の本質を理解している必要があり、作問をすることで、理解度の確認や学び直しもできる。また、仲間が作った問題であることや、すぐに答えがわかることから、多くの問題を解こうと主体的に取り組む姿が多く見られ、本時の学習の習熟を図ることもできた。



※使用した学習支援アプリ・・・ロイロノート